



発行元：民主党プレス民主編集部

東京都千代田区永田町 1-11-1

TEL：03-3595-9988（代表）

連絡先：民主党静岡県参議院選挙区第3総支部

静岡市駿河区南町 6-16 202-2

TEL：054-280-7604 FAX：054-285-7993

号外



参議院議員

藤本祐司

2009年11月号

様変わりした国会

10月26日（月）、臨時国会が始まった。本会議場の大臣席には民主党出身の大臣が並んだ。初めて見る光景であり感慨深い。改めて政権交代を実感した。

私が国土交通大臣政務官に就任した直後から、前原大臣は「八ツ場ダムの中止」「羽田空港の24時間国際空港化」など、多くの話題を提供してきた。そのせいか、私は「藤本さん、一番たいへんなところの政務官になったね」と多くの方々に言われる。もっとも、国土交通省だけが特別にたいへんというわけではないだろうが、マスコミ等への露出が多いため、国土交通省は最も忙しい官庁という印象を持つ方が多いようだ。

以前は国土交通省の閣僚に就任すると公共事業に関係する事業者や業界団体が擦り寄ってきたようだ。その結果、政官業の癒着が強まり、族議員が生まれた。しかし、民主党は“公共事業は必要なものに限る”という方針のため、関連業者との癒着は生まれにくい。むしろ疎まれる存在になっているかもしれない。ただ、私たちは、無駄な公共事業はやらないが、全ての公共事業をやめるとは言ってはいない。**今は公共事業をすべてゼロベースで見直す時期**であると考えているだけだ。

八ツ場ダムは今から57年前の計画であり、いまだにダム本体工事に着工していないことを考えると、地元住民の意思を無視するわけにはいかないものの、「本当に必要なダムなのか」という疑問に突き当たるとも当然だ。八ツ場ダム以外の公共事業の中にも20年以上前に計画されながらも、未だ本体工事に

着工していない事業がたくさんある。現在は計画を立てた時期と全く社会経済環境が異なり、国民の生活様式や価値観も変わり、人口構造も変化している。それにもかかわらず、当時の計画を「一旦決まったことだから」という理由だけで後生大事に守り続ける必要があるのだろうか。さらに悪いことに、計画した時よりも予算は概して膨らみがちである。意図的に少ない予算で計画を立て、20年経ったら予算を膨らまして事業をそのまま続ける。まるで詐欺みたいだ。

政権が代わったのだから、過去の公共事業を見直すのは当たり前のこと。会社の経営者が替わったら、それまでの経営方針を見直すことと同様だ。**自民政権は公共事業を一旦決めたら何も考えずに突き進むという政治だった。しかし、民主党政権は、一度立ち止まって考えるべきとしているのである。**コスト面の見直しや代替手段も検討する。その上で実施が適正というのであれば実施すればよい。別の方法がよければ別の方法で実施すればよい。規模の縮小が適当であれば縮小する。逆に規模を大きくした方が、むしろ費用対効果が大きいとなれば大きくすれば良い。

今は、**全て立ち止まって考えることこそが重要**だ。前例や慣習に従ってはいけな目だ。**変化が激しいこの時代は、「ルールは守るためにあるが、前例や慣習は破るためにある」と考えた方が正しい**かもしれない。朝礼暮改は大いに結構。とにかく、思い込みや惰性で政治をしてはいけない。

～藤本ゆうじの自分史～ その4（熱海第二小学校での思い出）

1966（昭和41）年の夏、私たち家族は父の転勤で静岡から熱海に転居した。私が小学校3年生の時のことである。熱海は坂が多く、狭い道ばかりだなというのが、当時の私の印象だった。父の仕事場は、和田町（当時の栄町）にあった『新熱海ホテル』だ。私が転校した熱海第二小学校は、転校当時、新校舎を建設中だった。ちなみに現在の校舎は、私が4年生の時にいった新校舎の次の校舎である。私から見ると新々校舎ということになる。

さて、転校したことがある方であればお分かりだと思いが、誰も知らない同級生の中に一人だけ取り残された感覚は結構つらいものだ。熱海と静岡では同じ静岡県でも言葉のイントネーションが違ったり、方言も違う。これまで使っていた言葉と違うことをからかわれたりもした。静岡県は東・中・西部でイントネーションや語尾が異なる。浜松（西部）で生まれ（両親も西部出身）、静岡（中部）に5年住み、熱海（東部）に引越した私にとっては、話しをするだけでもストレスを感じる時があった。

今でこそ好き嫌いなく何でも食べるが、小学校の給食は苦痛だった。担任の田村邦彦先生は全部食べきるまで家に帰してくれなかった。何度も先生や同級生の目を盗んで、給食のパンやおかずをかばんの中に隠して家に持ち返った。汁ものはさすがに持ち帰れないが、固形物はOKだ。田村先生は厳しかったが、今となっては厳しくしつけてもらったことを感謝している。今年、先生に同窓会でお会いした。先生は「引込み思案で大人しかった藤本が政治家か。わからんものだ。」と感慨深げに話された。

熱海の小学校時代での思い出は、なんと言ってもソフトボールと野球だ。特にソフトボールはクラス対抗戦や学校対抗戦が楽しかった。私は一塁を守っていた。自分で言うのも何だが、そこそこ上手かったのではないかと思っている。私の熱海第二小は宿敵（！？）第一小まで試合に出掛けた。第一小には今熱海市議会議員の牛乳屋の金森和道君がいた。彼とは私が参議院議員の選挙の時、35年ぶりに再会した。＜続く＞

＜藤本ゆうじの活動紹介＞

■藤本ゆうじのホームページにアクセスしてください。 <http://www.fujimoto-yuji.org/>

*藤本ゆうじの政府や国会での活動、政治姿勢や考え方を知ることができます。

■メールマガジンに登録してください。

*ホームページの内容や毎月発行している民主号外など藤本祐司の活動をメールマガジンで配信しています。藤本祐司のホームページから簡単に登録できます。

■藤本ゆうじのラジオ番組「藤本ゆうじのかる～くポリティックス」

*10月の放送日は参議院議員補欠選挙期間と重なったため、11月には2度放送します。11月6日（金）の18：45～19：15と11月27日（金）の18：30～19：00です。政治家主導の鳩山内閣の様子をお知らせします。

＜藤本ゆうじ事務所＞

静岡事務所 〒422-8067 静岡市駿河区南町 6-16 パレ・ルネッサンス 202-2

TEL：054-280-7604 FAX：054-285-7993 電子メール：office-fujimoto@fujimoto-yuji.org